

令和 6 年度地域発元気づくり支援金事業 総括書

事業名	北アルプス山麓新たな魅力ある体験メニュー開発・造成研究事業
事業主体	食・農林業体験と農家レストラン・民泊等研究会（北アルプス地域振興局商工観光課）
事業区分	(3)教育、文化、スポーツの振興に関する事業（ア 特色ある観光地づくり）
事業タイプ	ソフト
総事業費	670,037円（うち支援金：470,000円）

事業内容

○北アルプス山麓新たな体験メニュー開発・造成研究事業

北アルプス山麓地域における新たな体験メニューの掘り起こし、磨き込みに係る検討会、講演会を開催。また、提案された体験メニューを旅行エージェント等に発信するための広報資材（電子データ）を作成した。主な内容は以下のとおり。

① 検討会、講演会の開催

- 検討会 4月、7月、10月、1月に計4回開催
体験メニューの実践を通じて研究
提案された19件のメニュー中、「食」「農林業」「農家レストラン」「農家民宿」に係る10件を選定。
- 講演会 テーマ「学校現場が修学旅行に求めることは何か」

講師 元文部科学省訪日旅行受入れ促進検討会委員 恵崎 良太郎 氏

② 広報資材の作成

委員、その他体験メニュー提供事業者から提案されたメニュー(10件)について、旅行エージェント等に発信するための広報資材（電子データ）を作成。



検討会（1/20）



【目標・ねらい】

北アルプス山麓地域への学習旅行等の誘致を促進

- ① 年々、変化するニーズに対応するため、北アルプス山麓地域ならではの魅力ある体験メニューを開発・造成することにより、学習旅行の誘致を行う。
- ② 学習旅行先として選ばれるよう、より効果的な発信に資する広報資材を作成する。

事業効果

- 新たな魅力ある体験メニューの掘り起こし、磨きあげを行い、提案された19件のうち10件の体験メニューに係る広報資材（電子データ）を作成したことにより、今後、委員の団体及び各事業者等のホームページに掲載するなど、旅行エージェントへの情報発信が可能となったため、更なる学習旅行の誘致が期待される。
- 「北アルプス山麓育ち in 首都圏」実行委員会が主催する、首都圏等におけるプロモーション活動において、直接、旅行エージェントにアピールすることにより、誘客への期待をさらに高めることができた。

※自己評価【B】

- ① 実際に体験しながらの磨き上げを行うことにより、より実態に即したメニュー開発に資することができた
- ② 講演会や首都圏等の旅行エージェントに対するアンケート調査の実施により、今何が求められているのかを把握できたことにより、より的確にニーズを捉えたメニューづくりができた

今後の取り組み

引き続き、今年度選定しなかった分野の体験メニューについて、更なる磨き上げを行い、体験メニュー数を増やすことにより、更なる学習旅行の誘致につなげていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある